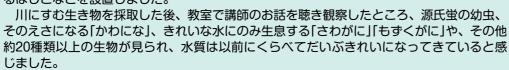
地域でガンバルク

公衆衛生推進協議会・通称 (公衛協)は、「環境」と「健康」をコミュニティで守るため に組織された団体で、安浦地区では110名の推進委員が活動しています。

今回、子ども達が自然とふれあいながら、季節を感じ環境を学ぼう!!と、公衛協主 催の「水辺教室」が安登小学校4年生26名を対象に学校裏の大坪川で開催しました。



事前に活動場所付近の安全保持のため推進委員、 地域の人たちの協力で草刈りや、土手から川に降り るはしごなどを設置しました。



子ども達の元気な声に活力をもらい、環境保全の大切さを再確認した一日でした。

子ども違が全国人発信は

10月10・11日に開催された「第2回復興応援呉ご当地キャラ祭」に、1日目 は安浦小学校、2日目は安登小学校の6年生が参加し、「コロナ収束後、呉にき



てクレ」の気持ちを込めて 安浦町の魅力を発表しまし た。このイベントは、新型 コロナウイルス感染拡大防 止のためオンライン配信の みで開催しました。

子ども達が暮らしてきた 安浦を元気いっぱいに伝え てくれた配信はイベント終



安全のため梯子や手摺を設置

了後もいつでも見ることができます。私たちの暮らすまちの魅力を、ぜひ YouTubeで見てみてください。

ちいと プロジェクト

まちづくり活動・トピックス

西日本豪雨災害を受け、被災したマリーゴールドの種から、 花を咲かせよう!!



各地に花を届け よう!!と、始まった 「ちぃとプロジェク ト」の活動も2年 日を迎えます。

今年も各小学校 などでマリーゴー



ルドの種を植えつないできました。

被害の大きかった安浦小学校では、災害を語りつぐためにマリーゴールドの花 を使った草木染めの授業を行い、素敵なハンカチが染め上がりました。

まちづくり情報誌

TANTO



安浦町まちづくり協議会 〒 737-2516 呉市安浦町中央 4 丁目 3-2 (呉市役所安浦市民センター内) 電話: 0823-84-2261 (年 4 回発行)

まちづくり協議会は"安浦町まるごと博物館構想"として、故山本譲氏が描いた風物画450点を活用し、 安浦の今昔を学び新たな発見・発掘と発信をするための活動をしています。

山本譲氏は明治37年安浦に生まれ、歴史や生活、自然などを描き残しました。

まちづくり協議会は、西日本豪雨災害や昨今のコロナ禍のため、活動が制限されています。

その中で、40年以上前に描かれた各地の風物画をとおして文化歴史を学び、安浦町全体が博物館になり、

にぎわいのある地域にするため、安浦町まるごと博物館クラブ(YMHC)をつくりました。

現在まち歩きや各地での展示とパンフレット作成をすすめています。

皆さんの参加を募集しています!! 知恵と知識、活動に協力してください。

連絡先:安浦市民センター内・安浦町まちづくり協議会 20823-84-2261



山本譲氏の描かれた風物画の内容

- ①(幼少期)大正~昭和初期の安浦の暮らしの風景
- ②安浦の歴史上のできごと~いにしえの風景の再現
- ③昭和50年代の安浦の風景

↑安登駅前駐輪場での展示



やすうら青空市 12/13 (目) 9:00~11:00

海

やすうら青空市 第2・4 (月) 10:00~11:30 安登豆ナ茶屋駐車場(売切り次第終了)

第83回・きらめき音楽館 12/19 (土) 11:00~12:00 安浦まちづくりセンター・きらめきホール

やすうら青空市 第2・4 (目) 9:00~11:00

安浦駅前林田旅館跡 (売切り次第終了)

やすうら青空市 1/25 (月) 10:00~11:30 安登豆ナ茶屋駐車場(売切り次第終了)

まちづくり協議会定例会 1/12 (火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター 安浦地区育児相談室 1/15 (金) 10:00~11:30 安浦保健出張所1階健康増進室 ストレッチング教室 1/19 (火) 10:00~11:30

やすうら青空市 2/14 (目) 9:00~11:00

安浦駅前林田旅館跡(売切り次第終了

やすうら青空市 第2・4(月) 10:00~11:30 安登豆ナ茶屋駐車場(売切り次第終了)

まちづくり協議会定例会 2/2 (火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター

ストレッチング教室 2/16 (火) 10:00~11:30 安浦地区育児相談室 2/26(金) 10:00~11:30 安浦保健出張所1階健康増進室

まちづくり協議会定例会 3/2 (火) 18:00~19:00 安浦まちづくりセンター ストレッチング教室 3/16 (火) 10:00~11:30

安浦地区育児相談室 3/19(金)10:00~11:30安浦保健出張所1階健康増進室

やすうら 記憶

山本譲翁の残した450枚の風物画でたどる 安浦・暮らしの記憶



住吉神社のこども相撲(平成28年撮影)

俗に奉納相撲や神事相撲などと呼ば れる「祭儀相撲(さいぎずもう)」の伝統 は近世以降隆盛し、日本各地の神社に 伝えられています。『日本書記』にも登 場する相撲。神話の時代から現代まで、 なぜ人々は相撲を敬い、土俵を神聖な



場所としたのでしょうか。力強く足を踏みならし「しこ」を踏んで相手をけ散らす力士の姿に、人々は 悪霊を追い払い禍いを遠ざける霊力を見たのです。力比べの競技としての相撲の楽しみと共に、祭り の儀式としての相撲が根付いていたのでした。

近世の安浦ではおもに、内海の諏訪神社、亀山八幡神社、大山神社、住吉神社で奉納相撲がおこな われ、三津口でも神山神社、塩釜神社でおこなわれていました。

現在、町内で唯一残る奉納相撲は住吉神社で、こども相撲に形を変えながらも1762(宝暦12)年以来 250年以上の伝統を保っています。近世の相撲は、土地の者だけではなく諸国から力自慢の力士が集い、 老若男女が大いに沸き立つにぎやかな行事だったそうです。

土にしっかり足をつけ踏みならし、禍いをけ散らす。明快でたくましいパワーを目の前にし、明日 の勇気をもらう奉納相撲の伝統。今の時代にこそ必要かもしれませんね。

中畑自治会復興支援桜の「植樹会」

11月8日(日)静岡から、 災害復興支援の河津桜の 苗木が届きました。秋晴 れに恵まれたいなしふれ あい広場では、自治会主 催の「植樹会」が催され、 呉市復興総室·呉市社協·



安浦市民センターから、大勢が参加しました。

地元瀬川園芸さんの指導で、穴掘り・泥かけ・ドー ナツ型の土盛り・水やり・足踏みなどのコツを教わっ た後、10本の苗木はきれいに植え付けされました。

数年後の開花を夢見て、ワクワク。どの顔もコロナ の元気な「火の用心!」の



女子畑に響いた、子ども達の「火の用心」

昨年12月29日、女子畑 ラブとの初めての共同 用心パレード』が実施され ました。スタート地点の 旧野路東小学校に子ども 達23名、総勢80名の参加

パレード隊は、子ども達 かけ声と拍子木の音とと もに防火を呼びかけまし

実施する予定。元気な「火 の用心!」が地域に響くこ とを楽しみにしています。 ※写真は昨年度のものです。





有限会社 若元工業

呉市安浦町安登3561 TEL0823-84-2996

有限会社若元工業は2002(平成14)年、若元英雄さん(65才)が製缶加工業として日之浦地区で創業しました。 加工は主に鉄やステンレスなどの鋼材を使用し、大型製品はプラント架台や鉄道車両など。小さいものは 手のひらサイズまで加工しています。

みなさんの身近なものでは、IR西日本の車両レッドウイング先頭部にある転落防止板(左右についている 羽のようなもの)やイギリスを走行する高速鉄道車両の試作にも取り組んだり、鋼材を扱う原材料なら何で も製作しています。

社員は20名で、10代から70代までと幅広く、新たな加工分野にも挑戦しています。

2年前の西日本豪雨災害では工場が土石流に遭い、復旧作業は社員総動員で約1カ月かかりました。

復旧のシンボルとして、逆境を乗り越えて生きると言われているマリーゴールドを工場周辺に植栽しまし た。花を咲かせ来訪者や社員の気持ちを和ませています。

社長曰く「苦しい経験もしましたが、これからも皆様に喜ばれる仕事を続けてまいります。|





若元工業を支える精鋭の皆さん

植えられたマリーゴールド



昭和40年代に撮影された写真と思われる。中畑川と並





昭和45年の水尻~日之浦間の県道工事中の写真

